

系	統	2液型エポキシ樹脂系注入接着剤
特	長	1) 粘度が低く、微細なひび割れへの注入作業性に優れる。 2) コンクリートに対する接着性に優れる。 3) ひび割れの動きに追従する柔軟性を有する。(100%の伸び能力を有する)
用	途	1) コンクリート構造物のひび割れ注入補修用 (特にひび割れの進行が見込まれる場合、また温度の影響でひび割れ幅が伸縮している場合に適する) 2) 旧建設省総合技術開発プロジェクト コンクリートの耐久性向上技術の開発 平成元年5月 アルカリ骨材反応被害構造物(土木)の補修・補強指針(案) 注入材の品質規格 3種適合品
配	合	主 剤：硬化剤 = 7：3 (重量比)
荷	姿	5kgセット (主剤/3.50kg、硬化剤/1.50kg) 10kgセット (主剤/7.00kg、硬化剤/3.00kg)
外	観	主 剤…無色透明液状 硬化剤…淡黄色透明液状 混合物…淡黄色透明液状

## 可使時間の目安

タイプ	冬用 (W)		夏用 (S)	
温度 [°C]	5	15	20	30
可使時間 [分]	120	40	60	30

比	重	1. 10±0.05 (硬化物)
貯	蔵	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性 区 分 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
毒	物	主 剤 該当しない
取	締	硬化剤 該当する
使	用	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) BLインジェクター、DDインジェクター、LLインジェクター等を用いて、ひび割れに注入する。
使	用	1) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 2) 可使時間内に作業を終了する。 3) シンナーや水を混入して使用しない。

⚠ 注 意
-------

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>4. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。</li> </ol> |
|--|